

伝統的建造物群保存地区においては、平成11年から伝統的建造物の保存修理事業が行なわれ、次々と建物が修理され、来訪者の増加があるが、その効果が周辺に波及していない。

街なみ環境整備事業に伴う地元説明会を通じて、アーケードを撤去し、歴史的景観を活用したまちづくりを進めたいという住民意識が高まっている。

アーケードを撤去することにより、柱がなくなるため、歩行者が側溝の上を歩く機会が多くなる。

現在の側溝は、不安定なものが多く、危険であり、早急な側溝整備が必要である。



凡 例	
	特徴的な建物
	側溝整備
	アーケード撤去

